SERVICE NEWS

SUBARU CORPORATION
HEAD OFFICE ; EBISU SUBARU BLDG.
SHIBUYA, TOKYO, JAPAN

JCAB APPROVED

NO. 200-039 DATE H31.1.17 (SUPERSEDES NO.)

REV. DATE (SUPERSEDES NO.)

REASON

真空ポンプの代替品追加に伴うマニュアルの一部改訂について

真空ポンプの代替品を追加するための型式設計変更について、航空局の承認（第20-17-A002号（2018.12.28）及び第22-14-A002号（2018.12.28））を受けました。これに伴い、マニュアルの内容に一部変更が生じましたので、その改訂内容をお知らせ致します。

下記要領に従い該当頁を差換えて使用して下さい。

1. SERVICE MANUAL

マニュアル No.	本紙頁	SERVICE MANUAL の頁
FA200-101 (200-010002A)	3、4	11-11 / 11-12
FA200-102 (200-010014)	5、6	11-11 / 11-12
FA200-103 (200-010015)	7、8	11-11 / 11-12

2. PARTS CATALOGUE

マニュアル No.	本紙頁	PARTS CATALOGUE の頁
FA200-201 (200-010001B)	9、10	6-15 / 6-16
FA200-202 (200-010011)	11、12	6-15 / 6-16

(Blank Page)

11-5-2　水平儀

水平儀は地表を見ないで常時正しい飛行姿勢を維持できる様に正確な安定した人工水平線を作るものであって、計器は機体の前後および横傾斜姿勢を示す。計器の表面の人工水平線は、水平線を示しており固定ミニチャーエアプレンは機体を示している。その固定ミニチャーエアプレンは機体の水平からの頭上げ、または頭下げの角度と横傾斜角度およびその組合せを同時に示していて機首上げのときにはホライゾン・バーはさがり、機首さげでは上がる。傾きの限界は左右が100°、縦方向が60°となっており計器はエンジン駆動の真空ポンプより作動される真空式のジャイロ回転子を持っている。このジャイロ作動に必要な吸引圧力は3.75～4.25IN-Hgである。計器表面の下にある小さなノブは固定ミニチャーエアプレンを人工水平線に対して調整するのに使用され、計器表面の右下にあるつまみはケージ用であって引張って時計方向に回転するとケージして、ジンバルを押さえ、曲技飛行および着陸滑走時にジャイロ機構を保護する。#101号機以降の機体に装備されている水平儀はMODEL 5000Bであり、その作動原理は同じであるがロール360°、ピッチ360°の範囲で作動し、ジャイロ作動に必要な吸引圧は4.0～5.0IN-Hgで回転速度は約23000RPMでありケージ機構は持っていない。

11-5-3　定針儀

定針儀は度で目盛られていて、直線コースからの機体の相対的な移動量を示すものである。計器にはエンジン駆動の真空ポンプで作動されるジャイロの回転子がある。ポンプは計器の中の圧力を低くして濾過した空気の噴流を起こさせ、それによって回転子を高速度に回転させる。尚、ジャイロには力が働かないはずであるがローターの不均衡や摩擦のために完全な自由ジャイロではあり得ず偏位差を生じる。この偏位の大きさは15分間に3度以内にしてある。これ以上の偏位を生じるものは不適当である。実際に使用するときは15分毎に方位設定を磁気コンパスを基準にして行なわなければならない。また前後左右共に55度以上傾くとジャイロは倒れてしまう。このときカードは回転を始めて指示は無意味となる。水平に復してケージし設定しなおすまでは指示は無効である。このために、または計器の損傷を防ぐために曲技飛行および着陸滑走時には計器をケージすること。#101号機以降の機体に装備されている定針儀はMODEL 4000Bであり、その作動原理は同じであるがその作動範囲は垂直軸まわりに360°回転し方位角を指示する。急降下、急上昇または水平飛行から55°以内でのバン角での計器は作動するが、ジンバル系統が補正されないので方位誤差を生ずる。ジャイロ作動に必要な吸引圧は4.0～5.0IN-Hgである。また、この計器の偏位差は10分間に3度以内であり、これ以上の偏位を生ずるものは不適当である。実施に使用するときは10分毎に方位設定を磁気コンパスを基準にして行なわなければならない。なお、ケージ機構は持っていない。

11-5-4　真空計

真空計は真空計器を作動させている空気の真空圧を指示し、パイロットがその指示により真空計器が正常に作動しているか否かを判断するために取付けられている。真空圧が計器作動に必要な範囲より増減すると真空計器の正常な指示をそこなう。正常作動真空圧は3.75IN-Hgから4.25IN-Hg（HA-3水平儀およびDA-2定針儀）、4.0IN-Hgから5.0IN-Hg（MODEL 4000定針儀およびMODEL 5000B水平儀）の間と定められている。真空計にはこの正常作動真空圧の間にマーキングがしてあり、指針はこのマーキングの範囲内になければならない。

11-5-5　真空ポンプ

真空ポンプは水平儀および定針儀に使用されている空気駆動のジャイロの回転子を作動させるために必要な負圧をあたえるものである。それはエンジン駆動のスライディング・ベン・タイプのポンプである。尚このポンプはエンジン補機ケース上の丁度右のマグネト上に取り付けられていて、エンジンの回転速度によってポンプ作動速度が決定される。またこれと比例して脈動なしに定常的な吸上げおよび連続的な排出を行なっている。

注　意

真空ポンプの点検は、製造会社が推奨する点検間隔及び方法に従って実施すること。

11-5-6　真空ポンプの取りはずし

(1)　右側の上部カウリングを開く。

(2)　バキューム・リリーフ・バルブにつながるホースをはずし、真空ポンプから真空ポンプ排出管をはずす。

(3)　真空ポンプをエンジンに取り付けている4個のナット、ワッシャを取りはずし、ポンプをエンジンから取りはずす。

11-5-7　真空ポンプの取り付け

取りはずしの順序を逆に行なう。

注　意

すべての取付け金具の雄ネジには規格番号JAN-A-669の固着防止剤を使用する。但しドライ・バキューム・ポンプを装着している場合は、ポンプ内の部品に附着する恐れがあるのでフィッティング、ホース等に油、グリース、パイプコンパンド等を使用しない。

11-5-8　真空ポンプ駆動部オイルシールの交換

真空ポンプ駆動部オイルシールからのオイル漏れにより、真空ポンプが機能不良を起こすので下記の要領で点検しもしオイル漏れが認められる場合はP/N STD-208 Seal Chicago Rauhide NO515748に交換することが望ましい。真空ポンプはオイルおよびグリースが侵入しない様にしなければならない。これらのオイルはポンプ駆動部シールからの漏れ、圧力グリースガンまたはポンプ駆動空気から直接または無保護の部分から侵入する。真空ポンプの下部または駆動空気からオイルが発見される場合には一般にポンプ駆動部シールからのオイル漏れによるものである。もしこの状態が認められたならばシールの交換を行なわなければならない。ポンプの中にオイルが入ると吸引圧力が低下するか、不安定になるか、または完全な損失を起こす。ポンプに少量のオイルが侵入した場合にはアイドル回転中または走行中にまれに低い吸引圧力を示す。暖かい天候の際には吸引圧力の完全な損失を起こす前にその欠陥が多く見られる。寒い天候の際にはこの欠陥が突然に起こる。

11-5-9　バキューム・リリーフ・バルブ（図 11-5 参照）

バキューム・リリーフ・バルブは防火壁に取り付けられており、真空系統の真空圧を希望の値に維持するものである。リリーフ・バルブは自動的に作動して、この系統内の真空圧がリリーフ・バルブの設定値以上になった時は、何時でも真空ポンプが計器の手前から空気を吸込むので計器に不要の負圧がかからぬようになっている。この設定値はリリーフ・バルブに付いている調整スクリュによって下記手順にて調整することができる。

注　意

リリーフ・バルブ調整後、調整スクリュのロックナットを締め忘れるとロックナットが脱落することがあるので下記の要領にて安全線をする。

(1)　エンジン回転 1900RPM で真空計の指示が 4.0IN-Hg（HA-3 水平儀、DA-2 定針儀の場合）又は 4.5IN-Hg（MODEL 5000B 水平儀および MODEL 4000B 定針儀の場合）であることを確認する。

(2)　リリーフ・バルブの調整は調整スクリュのロックナットをゆるめて行なう。

11-5-2　水平儀

水平儀は地表を見ないで常時正しい飛行姿勢を維持できる様に正確な安定した人工水平線を作るものであって、計器は機体の前後および横傾斜姿勢を示す。計器の表面の人工水平線は、水平線を示しており固定ミニチャーエアプレンは機体を示している。その固定ミニチャーエアプレンは機体の水平からの頭上げ、または頭下げの角度と横傾斜角度およびその組合せを同時に示していて機首上げのときにはホライゾン・バーはさがり、機首さげでは上がる。計器表面の下にある小さなノブは固定ミニチャーエアプレンを人工水平線に対して調整するのに使用される。なおこの機体に装備されている水平儀はMODEL 5000Bであり、その作動はロール360°、ピッチ360°の範囲で作動し、ジャイロ作動に必要な吸引圧は4.0～5.0IN-Hgで回転速度は約23000RPMでありケージ機構は持っていない。

11-5-3　定針儀

定針儀は度で目盛られていて、直線コースからの機体の相対的な移動量を示すものである。計器にはエンジン駆動の真空ポンプで作動されるジャイロの回転子がある。ポンプは計器の中の圧力を低くして濾過した空気の噴流を起こさせ、それによって回転子を高速度に回転させる。尚、ジャイロには力が働かないはずであるがローターの不均衡や摩擦のために完全な自由ジャイロではあり得ず偏位差を生じる。この偏位の大きさは10分間に3度以内にしてある。これ以上の偏位を生じるものは不適当である。実際に使用するときは10分毎に方位設定を磁気コンパスを基準にして行なわなければならない。なおこの機体に装備されている定針儀はMODEL 4000Bであり、その作動範囲は垂直軸まわりに360°回転し方位角を指示する。急降下、急上昇または水平飛行から55°以内でのバン角での計器は作動するが、ジンバル系統が補正されないので方位誤差を生ずる。ジャイロ作動に必要な吸引圧は4.0～5.0IN-Hgであり、ケージ機構は持っていない。

11-5-4　真空計

真空計は真空計器を作動させている空気の真空圧を指示し、パイロットがその指示により真空計器が正常に作動しているか否かを判断するために取付けられている。真空圧が計器作動に必要な範囲より増減すると真空計器の正常な指示をそこなう。正常作動真空圧は4.0IN-Hgから5.0IN-Hgの間と定められている。真空計にはこの正常作動真空圧の間にマーキングがしてあり、指針はこのマーキングの範囲内になければならない。

11-5-5　真空ポンプ

真空ポンプは水平儀および定針儀に使用されている空気駆動のジャイロの回転子を作動させるために必要な負圧をあたえるものである。それはエンジン駆動のスライディング・ベン・タイプのポンプである。尚このポンプはエンジン補機ケース右上に取り付けられていて、エンジンの回転速度によってポンプ作動速度が決定される。またこれと比例して脈動なしに定常的な吸上げおよび連続的な排出を行なっている。

注　意

真空ポンプの点検は、製造会社が推奨する点検間隔及び方法に従って実施すること。

11-5-6　真空ポンプの取りはずし

(1)　上部カウリングを取外す。

(2)　バキューム・リリーフ・バルブにつながるホースをはずし、真空ポンプから真空ポンプ排出管をはずす。

(3)　真空ポンプをエンジンに取り付けている4個のナット、ワッシャを取りはずし、ポンプをエンジンから取りはずす。

11-5-7　真空ポンプの取り付け

取りはずしの順序を逆に行なう。

注　意

すべての取付け金具の雄ネジには規格番号JAN-A-669の固着防止剤を使用する。但しドライ・バキューム・ポンプを装着している場合は、ポンプ内の部品に附着する恐れがあるのでフィッティング、ホース等に油、グリース、パイプコンパンド等を使用しない。

11-5-8　真空ポンプ駆動部オイルシールの交換

真空ポンプ駆動部オイルシールからのオイル漏れにより、真空ポンプが機能不良を起こすので下記の要領で点検しもしオイル漏れが認められる場合はP/N STD-208 Seal Chicago Rauhide NO515748に交換することが望ましい。真空ポンプはオイルおよびグリースが侵入しない様にしなければならない。これらのオイルはポンプ駆動部シールからの漏れ、圧力グリースガンまたはポンプ駆動空気から直接または無保護の部分から侵入する。真空ポンプの下部または駆動空気からオイルが発見される場合には一般にポンプ駆動部シールからのオイル漏れによるものである。もしこの状態が認められたならばシールの交換を行なわなければならない。ポンプの中にオイルが入ると吸引圧力が低下するか、不安定になるか、または完全な損失を起こす。ポンプに少量のオイルが侵入した場合にはアイドル回転中または走行中にまれに低い吸引圧力を示す。暖かい天候の際には吸引圧力の完全な損失を起こす前にその欠陥が多く見られる。寒い天候の際にはこの欠陥が突然に起こる。

11-5-9　バキューム・リリーフ・バルブ（図 11-5 参照）

バキューム・リリーフ・バルブは防火壁に取り付けられており、真空系統の真空圧を希望の値に維持するものである。リリーフ・バルブは自動的に作動して、この系統内の真空圧がリリーフ・バルブの設定値以上になった時は、何時でも真空ポンプが計器の手前から空気を吸込むので計器に不要の負圧がかからぬようになっている。この設定値はリリーフ・バルブに付いている調整スクリュによって下記手順にて調整することができる。

注　意

リリーフ・バルブ調整後、調整スクリュのロックナットを締め忘れるとロックナットが脱落することがあるので下記の要領にて安全線をする。

(1)　エンジン回転 1900RPM で真空計の指示が 4.5IN-Hg であることを確認する。

(2)　リリーフ・バルブの調整は調整スクリュのロックナットをゆるめて行なう。

11-5-2　水平儀

水平儀は地表を見ないで常時正しい飛行姿勢を維持できる様に正確な安定した人工水平線を作るものであって、計器は機体の前後および横傾斜姿勢を示す。計器の表面の人工水平線は、水平線を示しており固定ミニチャーエアプレンは機体を示している。その固定ミニチャーエアプレンは機体の水平からの頭上げ、または頭下げの角度と横傾斜角度およびその組合せを同時に示していて機首上げのときにはホライゾン・バーはさがり、機首さげでは上がる。計器表面の下にある小さなノブは固定ミニチャーエアプレンを人工水平線に対して調整するのに使用される。なおこの機体に装備されている水平儀はMODEL 5000Bであり、その作動はロール360°、ピッチ360°の範囲で作動し、ジャイロ作動に必要な吸引圧は4.0～5.0IN-Hgで回転速度は約23000RPMでありケージ機構は持っていない。

11-5-3　定針儀

定針儀は度で目盛られていて、直線コースからの機体の相対的な移動量を示すものである。計器にはエンジン駆動の真空ポンプで作動されるジャイロの回転子がある。ポンプは計器の中の圧力を低くして濾過した空気の噴流を起こさせ、それによって回転子を高速度に回転させる。尚、ジャイロには力が働かないはずであるがローターの不均衡や摩擦のために完全な自由ジャイロではあり得ず偏位差を生じる。この偏位の大きさは10分間に3度以内にしてある。これ以上の偏位を生じるものは不適当である。実際に使用するときは10分毎に方位設定を磁気コンパスを基準にして行なわなければならない。なおこの機体に装備されている定針儀はMODEL 4000Bであり、その作動範囲は垂直軸まわりに360°回転し方位角を指示する。急降下、急上昇または水平飛行から55°以内でのバン角での計器は作動するが、ジンバル系統が補正されないので方位誤差を生ずる。ジャイロ作動に必要な吸引圧は4.0～5.0IN-Hgであり、ケージ機構は持っていない。

11-5-4　真空計

真空計は真空計器を作動させている空気の真空圧を指示し、パイロットがその指示により真空計器が正常に作動しているか否かを判断するために取付けられている。真空圧が計器作動に必要な範囲より増減すると真空計器の正常な指示をそこなう。正常作動真空圧は4.0IN-Hgから5.0IN-Hgの間と定められている。真空計にはこの正常作動真空圧の間にマーキングがしてあり、指針はこのマーキングの範囲内になければならない。

11-5-5　真空ポンプ

真空ポンプは水平儀および定針儀に使用されている空気駆動のジャイロの回転子を作動させるために必要な負圧をあたえるものである。それはエンジン駆動のスライディング・ベン・タイプのポンプである。尚このポンプはエンジン補機ケース上の丁度右のマグネト上に取り付けられていて、エンジンの回転速度によってポンプ作動速度が決定される。またこれと比例して脈動なしに定常的な吸上げおよび連続的な排出を行なっている。

注　意

真空ポンプの点検は、製造会社が推奨する点検間隔及び方法に従って実施すること。

11-5-6　真空ポンプの取りはずし

(1)　右側の上部カウリングを開く。(FA-200-160)、又は上部カウリングを取り外す。(FA-200-180)

(2)　バキューム・リリーフ・バルブにつながるホースをはずし、真空ポンプから真空ポンプ排出管をはずす。

(3)　真空ポンプをエンジンに取り付けている4個のナット、ワッシャを取りはずし、ポンプをエンジンから取りはずす。

11-5-7　真空ポンプの取り付け

取りはずしの順序を逆に行なう。

注　意

すべての取付け金具の雄ネジには規格番号JAN-A-669の固着防止剤を使用する。但しドライ・バキューム・ポンプを装着している場合は、ポンプ内の部品に附着する恐れがあるのでフィッティング、ホース等に油、グリース、パイプコンパンド等を使用しない。

11-5-8　真空ポンプ駆動部オイルシールの交換

真空ポンプ駆動部オイルシールからのオイル漏れにより、真空ポンプが機能不良を起こすので下記の要領で点検しもしオイル漏れが認められる場合はP/N STD-208 Seal Chicago Rauhide NO515748に交換することが望ましい。真空ポンプはオイルおよびグリースが侵入しない様にしなければならない。これらのオイルはポンプ駆動部シールからの漏れ、圧力グリースガンまたはポンプ駆動空気から直接または無保護の部分から侵入する。真空ポンプの下部または駆動空気からオイルが発見される場合には一般にポンプ駆動部シールからのオイル漏れによるものである。もしこの状態が認められたならばシールの交換を行なわなければならない。ポンプの中にオイルが入ると吸引圧力が低下するか、不安定になるか、または完全な損失を起こす。ポンプに少量のオイルが侵入した場合にはアイドル回転中または走行中にまれに低い吸引圧力を示す。暖かい天候の際には吸引圧力の完全な損失を起こす前にその欠陥が多く見られる。寒い天候の際にはこの欠陥が突然に起こる。

11-5-9　バキューム・リリーフ・バルブ（図 11-5 参照）

バキューム・リリーフ・バルブは防火壁に取り付けられており、真空系統の真空圧を希望の値に維持するものである。リリーフ・バルブは自動的に作動して、この系統内の真空圧がリリーフ・バルブの設定値以上になった時は、何時でも真空ポンプが計器の手前から空気を吸込むので計器に不要の負圧がかからぬようになっている。この設定値はリリーフ・バルブに付いている調整スクリュによって下記手順にて調整することができる。

注　意

リリーフ・バルブ調整後、調整スクリュのロックナットを締め忘れるとロックナットが脱落することがあるので下記の要領にて安全線をする。

(1)　エンジン回転 1900 RPM で真空計の指示が 4.5 IN-Hg（MODEL 5000B 水平儀及び MODEL 4000B 定針儀の場合）であることを確認する。

(2)　リリーフ・バルブの調整は調整スクリュのロックナットをゆるめて行なう。

FIG & INDEX NO.	PART NO.	DESCRIPTION 1234567	UNITS PER ASS'Y	USABLE ON CODE
29		ENGINE DRIVEN VACUUM SYSTEM		
	200-324190	ENGINE DRIVEN VACUUM SYSTEM	REF	D
	200-324192			E
-1	HA-3			
	or HA-3-1			
	or JH6500A	·GYRO HORIZON (TKK or JH)	1	D
		/ATTACHING PARTS/		
	AN520-10R16			
	or MS35207-267	·SCREW	4	D
		--------- * ---------		
-2	G-1			
	or DA-2			
	or JH5500			
	or DA-2-1	·GYRO DIRECTIONAL (TKS or TKK or JH)	1	D
		/ATTACHING PARTS/		
	AN520-10R14	·SCREW	4	D
	or MS35207-267			
		--------- * ---------		
-3	PS-1			
	or PS-1-1			
	or 22-880-01-A	·GAUGE, SUCTION (TKK or WS)	1	
		/ATTACHING PARTS/		
	MS35206-232	·SCREW	4	D
	MS35206-234	·SCREW	4	E
	NAS487-13	·NUT	4	D
	NAS487-21	·NUT	4	E
		--------- * ---------		
-4	AN816-4-4D	·NIPPLE	1	D
-5	AN6270-4-18	·HOSE ASSEMBLY	1	D
-6	AN816-4D	·NIPPLE	1	D
-7	1K1-4-6	·FITTING (ARB)	1	A
	1K10-4-6	·FITTING (ARB)	1	C
-8	AN737TW26	·CLAMP	6	
-9	F-0454-06018	·HOSE	1	A
	F-0454-06025	·HOSE	1	C
-10	F-0454-06009	·HOSE	1	A
	F-0454-06011	·HOSE	1	C
-11	1K10-4-6	·FITTING (ARB)	1	
-12	1K1-4-6	·FITTING (ARB)	2	A
	1K10-4-6	·FITTING (ARB)	2	C
-13	F-0454-06064	·HOSE	1	D
-14	1L6-1	·AIR FILTER (ARB)	1	A
	or 1J7-1	·AIR FILTER (ARB)	1	B
-15	1K1-4-8	·FITTING (ARB)	1	D
-16	F-0454-08095	·HOSE	1	F
	F-0454-08142	·HOSE	1	G
-17	MS21919DG14	·CLAMP	1	
	AN960D8	·WASHER	1	
	MS35206-245	·SCREW	1	
-18	AN737TW30	·CLAMP	2	
-19	133A3	·VALVE, SUCTION REGULATING (ARB)	1	
-20	B3-5-1	··VALVE FILTER (ARB)	1	
-21	AN960D1416L	·WASHER	2	
-22	AN737TW34	·CLAMP	2	
-23	F-0454-10064	·HOSE	1	
-24	1K1-6-10	·FITTING (ARB)	1	
-25	1K8-6-8	·FITTING (ARB)	1	
-26	F-0454-08016	·HOSE	1	
-27	AN737TW30	·CLAMP	2	
-28	200-324191-101	·TUBE ASSEMBLY	1	
-29	MS21919DG8	·CLAMP	1	

FIG & INDEX NO.	PART NO.	DESCRIPTION 1234567	UNITS PER ASS'Y	USABLE ON CODE
29 -30	MS20913-2	·PLUG	2	
-31	200CC or 211CC or RAP215CC	·DRY VACUUM PUMP (ARB or RAPCO)	1	
-32	B1-9-1	··DRIVE COUPLING ASSY (ARB)	1	
		--------- * ---------		
	NO NUMBER	·VACUUM PUMP DRIVEN SET (LYC)	1	
-33	8313	··GASKET, VACUUM PUMP	1	
-34	61098	··ADAPTER ASSEMBLY (LYC)	1	
-35	STD-208	···SEAL, OIL (LYC)	1	
-36	STD-1774	···PIN, 1/8 in. DIA × 1/4 in. long (LYC)	1	
-37	71596	··WASHER (LYC)	1	
-38	61183	··GASKET, ACCESSORY ADAPTER (LYC)	1	
-39	72970	·GEAR ASSEMBLY	1	
-40	AN742D8	·CLAMP	1	
-41	MODEL5000B	·GYRO HORIZON (WS)	1	E
		/ATTACHING PARTS/		
	MS35206-232	·SCREW	4	E
		--------- * ---------		
-42	MODEL4000B	·DIRECTIONAL GYRO (WS)	1	E
		/ATTACHING PARTS/		
	MS35206-231	·SCREW	3	E
-43	AN816-6-2D	·NIPPLE	2	E
		--------- * ---------		
-44	200-324193-105	·TUBE ASSEMBLY	1	E
-45	200-324193-107	·TUBE ASSEMBLY	1	E
-46	MS20822-6-2D	·NIPPLE	1	E
-47	MS20826-6D	·TEE	1	E
-48	200-324193-103	·TUBE ASSEMBLY	1	E
-49	F-0454-06011	·HOSE	1	E
-50	1K17-2	·FITTING (ARB)	1	E
-51	F-0454-06025	·HOSE	1	E
-52	F-0454-06040	·HOSE	1	E
-53	F-0454-08125	·HOSE	1	E
-54	1K1-4-6	·FITTING (ARB)	1	E

A ····· FOR SERIAL NO. 12 THRU NO. 69
B ····· FOR SERIAL NO. 70 & ON
C ····· FOR SERIAL NO. 70 THRU NO. 100
D ····· FOR SERIAL NO. 12 THRU NO. 100
E ····· FOR SERIAL NO. 101 & ON
F ····· FOR SERIAL NO. 12 THRU NO. 75
G ····· FOR SERIAL NO. 76 THRU NO. 100

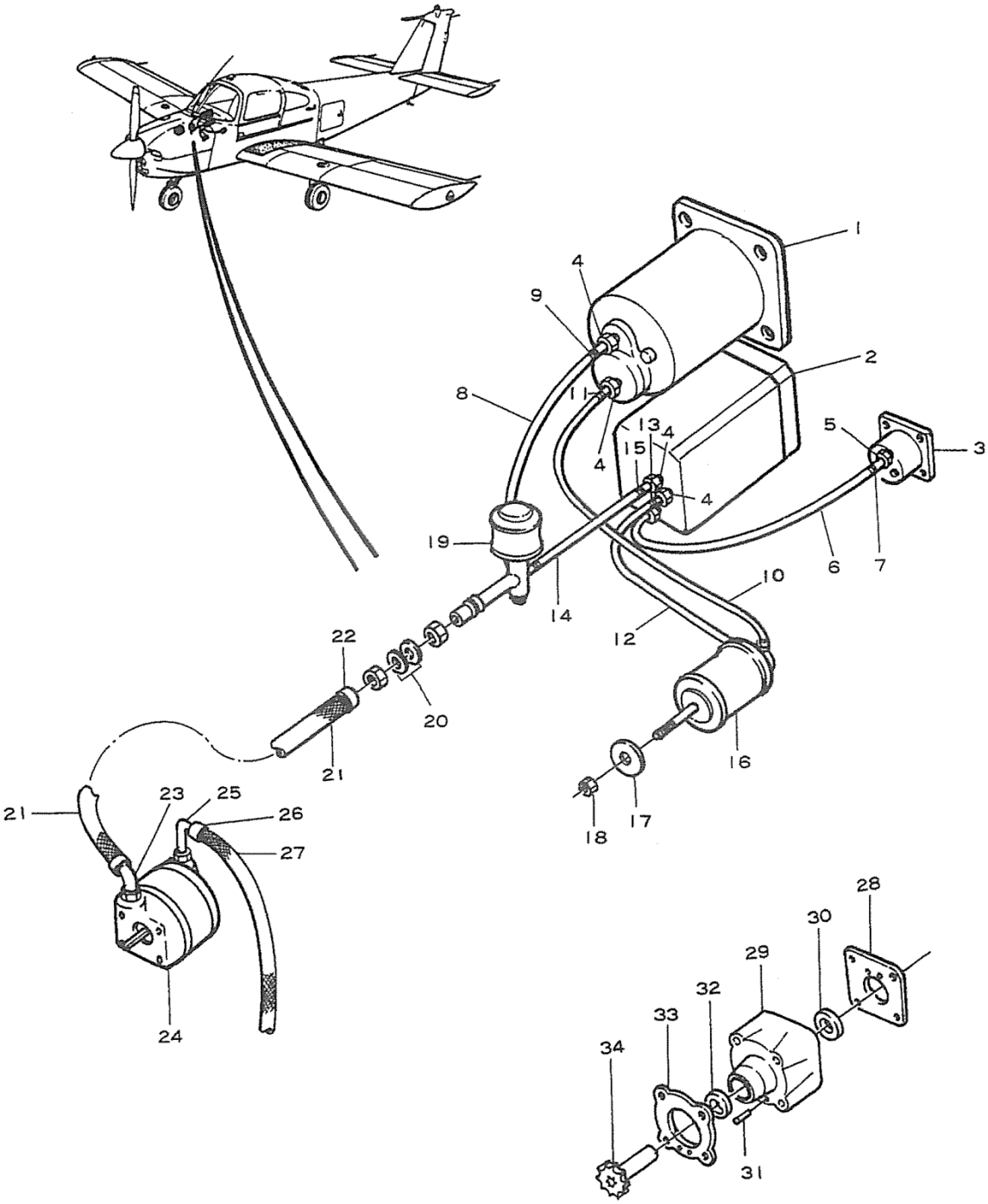

FIGURE 27. ENGINE DRIVEN VACUUM SYSTEM

FIG & INDEX NO.	PART NO.	DESCRIPTION 1234567	UNITS PER ASS'Y	USABLE ON CODE
27		ENGINE DRIVEN VACUUM SYSTEM		
-1	MODEL 5000B-15 or AIM300-4	·GYRO HORIZON (EDO-AIR or AIM)	1	
		/ATTACHING PARTS/		
	MS35206-230	·SCREW	4	
		--------- * ---------		
-2	MODEL 4000B-17 or AIM200-5	·DIRECTIONAL GYRO (EDO-AIR or AIM)	1	
		/ATTACHING PARTS/		
	MS35206-230	·SCREW	4	
		--------- * ---------		
-3	PS-1-1	·SUCTION GAUGE	1	
		/ATTACHING PARTS/		
	MS35206-234	·SCREW	4	
	NAS487-21	·NUT	4	
		--------- * ---------		
-4	1K10-4-6	·FITTING	4	
-5	1K10-2-4	·FITTING	2	
-6	200-324200-005	·HOSE	1	
-7	GIS091812000	·CLAMP	2	
-8	200-324200-007	·HOSE	1	
-9	GIS091814000	·CLAMP	2	
-10	200-324200-009	·HOSE	1	
-11	GIS090814000	·CLAMP	2	
-12	200-324200-013	·HOSE	1	
-13	GIS091814000	·CLAMP	2	
-14	200-324200-011	·HOSE	1	
-15	GIS091814000	·CLAMP	2	
-16	1J7-1	·AIRFILTER (AIR BORNE)	1	
		/ATTACHING PARTS/		
-17	200-324200-003	·WASHER	1	
-18	NAS679A3W	·NUT	1	
		--------- * ---------		
-19	2H3-12	·RELIFE VALVE	1	
-20	AN960D416L	·WASHER	2	
-21	F-0454-10080	·HOSE	1	
-22	GIS091822000	·CLAMP	2	
-23	1K1-6-10	·FITTING	1	
-24	211CC or RAP215CC	·VACUUM PUMP (AIR BORNE or RAPCO)	1	
-25	1K8-6-8	·FITTING	1	
-26	GIS091818000	·CLAMP	1	
-27	F-0454-08065	·HOSE	1	
	NO NUMBER	·VACUUM, PUMP DRIVEN SET (LYC)	1	
-28	8313	··GASKET, VACUUM PUMP	1	
-29	61098	··ADAPTER ASSEMBLY (LYC)	1	
-30	STD-208	···SEAL, OIL (LYC)	1	
-31	STD-1774	···PIN, 1/8 in, DIA × 1/4 in, LONG (LYC)	1	
-32	71596	··WASHER	1	